



那霸市立教育研究所

所報第5号

平成 21 年 7 月 24 日
那霸市金城 3-5-3
所長 池間生子

これまで全職員が学校経営に参加すると
はどういう事なのかはつきりとしたイメージ
を持つことが出来なかつたが、今回の学
習会を通して、それぞれの担当者がそれぞ
れの立場から、「学校経営方針」に目を通
し、それを学級経営に生かしていくために
はどうすればよいか具体的な提案をしてい
くことがもつとも大切であることを改めて
学ばせてもらつた。

「今、報告を受けたところです。二人が
よりいっそう頼もしく見えました。これか
らが楽しみです。」という校長先生からの
お電話があつた。

急に学校が変わることはないと思うが、
一人一人の意識が変わっていくことで何か
が動き出すのだと信じたい。

先日、学校訪問が終了した小学校の教務主任と研究主任が研究所を訪ねてきた。計画訪問のため資料を整理し提出したが、これを機会に計画と資料の一体化を図るために、見方や考え方、記載の仕方、今後、全職員で確認しなければならないこと等について意見交換がしたいとのことであった。三名でテーブルの上に広げた資料は、「学校経営」「教育課程」「学力向上対策」「校内研究」「生徒指導」「学年・学級経営案」「データ資料」等である。

校長先生の「校内研究を中心とした学校経営を!」という熱い思いに答えるため学校経営方針を学年・学級経営案に反映させることはと文言の見直し、挿入などの提案をしながら話し合いを進めた。二時間近くの時間をかけ、校長先生に提案できる内容の確認が出来たところで話し合いを終了し

所長 池間生子

研究員・検証授業

那霸市立松川小学校 長嶺奈々子

「論理的に考える力を育む学習指導の工夫」
～「読む活動」と「書く活動」を工夫した説明的文章の指導を通して～

検証授業 2年4組 説明文「すみれとあり」

論理的に考える力を育むための手立てとして、「理解し評価しながら読む」という視点を取り入れ授業を創りました。本文にある文章や資料を評価するということは、よさを認めつつ問題点も明らかにしていこうという主体的な読みで、論理的に考える力の育成に繋がるを考えています。しかしながら低学年ということもあり、発達段階や児童の実態に合わせた授業の構成や発問の吟味・検討を慎重にという課題も明らかになった授業でした。

Welcome 圖書室

那霸市立教育研究所には、図書室があります。教育書では各種月刊誌、話題の本、幻の絶版本、教育機関の研究集録など那霸市が誇る蔵書数です。

この夏休み期間には是非一度お立ち寄りになり、学年の研修会など計画してみてはいかがでしょうか。サポート致します。

ワークショップ型授業研究会

6/24 (水) 小禄南小 4年算数「小数」



算数授業改善支援チームと小禄南小学校4年の先生方との学習会を持ち、研究授業に取り組みました。写真資料はありませんが、ワークショップ型で研究会も進めました。

7/14(火) 城岳小 5年 算数「三角形の角」 喜名由美子先生 中山好乃先生



7/16 (木) 城西小 5年国語「討論会をしよう」 有賀朋子先生



ワークショップ型の授業研究会では、先生方が意見を出し合い、「わかる授業」の方向性を明らかにしていきます。